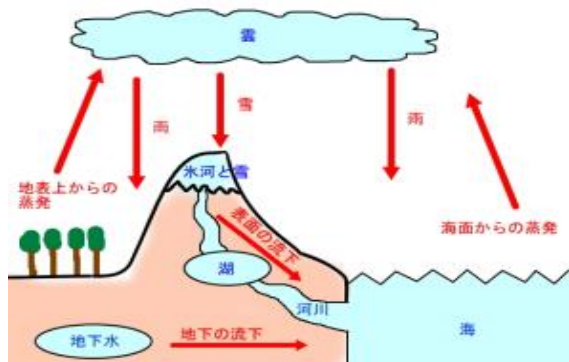
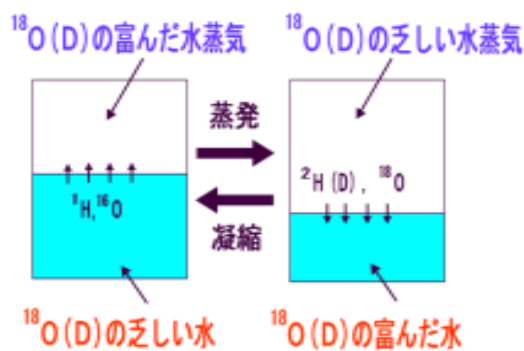


⑤水環境中の汚染物質に関する研究

水環境は我々の生活を支えている不可欠な環境資源の一つです。ところが近年、工業化や家庭排水また農業排水による水質汚濁、富栄養化などによる環境問題が懸念されています。環境保全・汚染防護の観点から、湿地における汚染物質の動態を把握し、汚染源や汚染物質の循環経路を解明することが重要な課題です。本研究室では、これまで新潟県内の降水や湖沼・河川水について、酸素・水素安定同位体比($\delta^{18}\text{O}$, δD)、水質基礎項目(pH, 溶存酸素 DO, 電気伝導度 EC, 酸化還元電位 ORP), 栄養塩や主要イオン, 重金属濃度を定期的に定量しています。



自然界における水循環の模式図



水の蒸発・凝縮に伴う同位体挙動

佐潟 Sakata

- ・ラムサール条約登録湿地に指定されている
- ・砂丘列間の低地に形成された砂丘湖
- ・流入河川がなく、降水と地下水のみによって涵養されている
- ・夏には多くの水生植物が潟内を覆う

Fig.1 Sampling points in Sakata

所在 新潟市南西部
 北緯 37°49'
 東経 138°52'30"
 面積 約 43.6ha
 水深 平均 1m



現場での水質基礎項目の測定



深度分布測定に際の測定容器